

超高齢化社会における革新的ライフサポートシステムの提案

実施期間	実施国	共同実施機関	対象	参加者	本学担当教員
2023年09月11日 ~2023年09月22日	日本	ラクイラ大学	<ul style="list-style-type: none"> 国際理工学専攻、機械工学専攻、システム理工学専攻 修士1年生、修士2年生 	(芝浦工業大学) 学生11名、教員3名 (ラクイラ大学) 学生15名、教員3名	伊藤 和寿(機械制御システム学科)、花房 昭彦(生命科学科)、高木 基樹(生命科学科)



図1 最終発表後の記念写真

本年度は本学およびラクイラ大学から計26名が参加し、6グループでの開催となった。また、昨年度のテーマ設定がやや難しかったことから今回は超高齢化社会でQOLを維持あるいは向上させるためのシステム提案と変更し、機械工学、システム工学、福祉工学、情報工学、通信工学、電気工学の各分野の強みを融合して新しいシステムを提案する内容とした。

各グループからは工夫や検討のうかがえる新たな成果が示され、第一週末の初回発表、最終日の最終発表とも、教員だけでなく参加学生からも多くの質疑が行われるなど、ディスカッションはかなり充実したものとなった。



図2 グループワーク1



図3 グループワーク2



図4 グループワーク3



図5 グループワーク4



図6 グループワーク5



図7 グループワーク6